

海洋物理モデルと海況4Dビッグデータを活用した水産業支援“IoT海況予測サービス”の創出

リファレンスモデルの概要

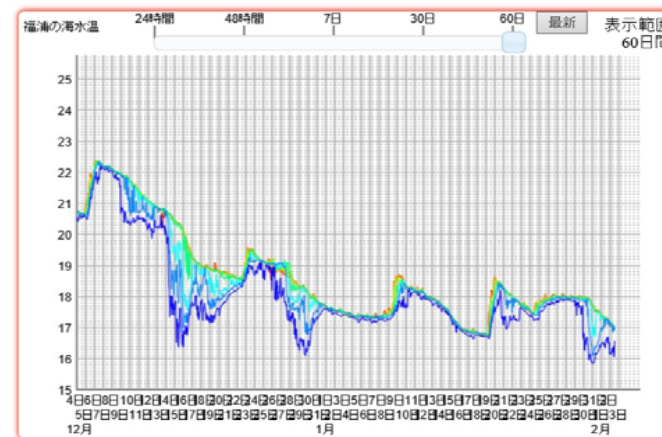
愛媛大学が培った**海洋物理モデル**に基づき、本事業で構築する宇和海の海況情報（現況、予測）サービスを実施し、現場にリアルタイムに情報を発信することで、**養殖業者にとっては生産性の向上**（給餌ロスの削減、赤潮や魚病の対策）、**漁船漁業者にとっては魚群の動きの把握**、等に繋がられることとなり、宇和海地域の水産業の生産高増につながるものとなる。

海況4Dビッグデータ (水温データ等)

(愛大 工)

(愛大 工)
可視化

現況情報



宇和海センサーネットワーク
(愛大 CMES、県水研、県漁連、ウミトン(株))

予測情報

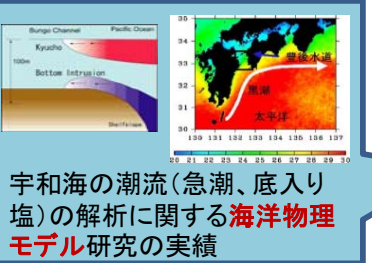
普及・
事業化検討
(県水研、愛大 社連、ウミトン(株))

可視化 (愛大 工)

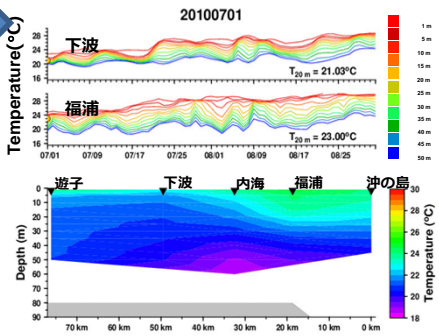
情報発信

(愛大 工、県水研、ウミトン(株))

高度化(予測)
(愛大 CMES、愛大 工、県水研)



愛媛大学 CMES HPより
(<http://engan.cmes.ehime-u.ac.jp/engan/kandou/theme/kaneda/kaneda.htm>)



宇和海地域の漁協、水産業者

640億円のえひめ水産業への貢献
推定6.4億円以上の経済効果